

浜坂高と夢が丘中、浜坂中が連携

# 中高一貫教育を導入

## 本年度から 39人が受験し入学

### 新温泉

新温泉町の県立浜坂高校と町立夢が丘中学校、浜坂中学校は本年度「連携型中高一貫教育」を導入した。6年間の切れ目ない教育などを通じ、学校の魅力アップにつなげる。

（伊藤 颯真）



連携型中高一貫教育校になった浜坂高校の新入生ら＝新温泉町芦屋

連携型中高一貫教育は、県や町など設置者が異なる中学校と高校が協議し、6年間の一貫した教育課程編成、学校間の教員・生徒の交流に取り組む。

設置者が同じ「併設型」は無試験で高校に進学できるが、連携型は入学者選抜を実施、学力検査や調査書、志望理由書、面接などで可否を判定する。これとは別に県内全域からも学力検査で生徒を募る。連携中学の生徒は、別の高校にも進学できる。

町教育委員会によると、少子化や進路の多様化で浜坂高校への進学者が減少した。県教育委員会と町教委、3校は2023年度から中高一貫教育を検討し、町教委と県教委は今年3月、導入の協定を結んだ。

浜坂高は台湾の学校と姉妹校提携を結び、2年の修学旅行で現地を訪ねてい

る。特色を生かそうと、両中学は25年度に初めて台湾の子どもたちとオンラインで交流した。地域探究学習にも力を入れる。

2月に両中学校からの志願者を対象とした連携型入学者選抜があり、2校の3年生91人のうち39人が受験

して合格した。全県からの志願者受け付けには応募がなかった。

入学式には、新1年生と保護者らが出席した。新入生を代表して松本大翔さん（15）は「生徒として諸規則を守り、心身を鍛え、勉学に励むことを誓います」と

述べた。西岡優子校長は培ってきた校風を大切にしつつ、連携中学校との一貫したよりきめ細かな指導を深めていくと話した。

県立高の連携型中高一貫教育校は、千種（安栗市）、氷上西（丹波市）に次いで3校目となった。